

あたって ご挨拶



東通村長
越 善 靖 夫

新年明けましておめでとうござい
す。平成二十七年の新春にあたり、謹ん
でご挨拶申し上げます。

村民の皆様には、平素から村政の各
般にわたり格別のご理解とご協力を賜
り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年末にアベノミクス解散を旗
印とした衆議院議員選挙が全国に大き
な期待を与えたものと思います。

「雇用と賃金を増やしてデフレから脱
却」「消費税増税の延期」等が公約に
掲げられ、何となく、地域経済と景
気の回復、原子力発電所の事故処理と
復興が進展されます。

さて、福島第一原子力発電所の事故
から、まもなく四年を経過致しますが、
原子力発電所の運転再開が定まってお
りません。

我が村は、昭和四十年の村議会での
誘致決議以来、安全性を第一義に国策
である原子力政策、エネルギー政策に對
して、一貫して協力してきたものであり、
原子力発電所との共生をもつて、各種産
業基盤、教育、福祉等の施策を着実に
進めて参りました。

ところで、東北電力は、福島第一原
子力発電所の事故を踏まえた安全性向
上のための取り組みとして、防潮堤、フ
ィルター付格納容器ベント設備や地震重
要棟などの様々な対策が完了、または
引き続き進められております。

又、東京電力からは、福島第一原子
力発電所事故により、事故の収束を最
優先するとの観点から、建設工事を中
断しておりますが、「東通原子力発電
所の重要性は変わるものではない」との
説明を受けております。

昨年二月には、経済産業大臣は、既
に原子炉設置許可を受けている東京電
力一号機については、「新増設にはあた
らない」と明言するとともに、エネルギ

ー基本計画においては、原子力発電を
「重要なベースロード電源」と位置付けし
ているものです。

このような両発電所における状況は、
当村の地域経済や振興対策に非常に大
きな影響を与えております。

村としては、福島第一原子力発電所
の事故を踏まえ、村の原子力防災計画
を修正し、県や関係市町村と連携を密
にしながら、避難先を青森市とする等
の具体的な避難計画の整備を進め、避
難訓練等にも皆様と共に積極的に参加
をしております。

昨年十二月二十二日、原子力規制委
員会による「東北電力東通原子力発電
所敷地内破砕帯の調査に関する有識者
会合」の第十二回評価会合が開催され、
有識者により評価書（案）が提示され、
有識者のみによる審議が行われました。
敷地内断層については、長い年月をかけ、
事業者はもちろん、幅広い専門家によ
り、様々な調査や審議が行われ、膨大
なデータに基づく国の厳格な安全審査
を受け、原子炉設置の許可がなされた
ものであり、有識者会合において、この
安全審査を覆すような、敷地内断層に
活動性があると評価するための十分な
根拠が示されたとは思えません。

私といったしましては、規制委員会に
おいては、過去の安全審査に関わった専
門家も含めた幅広い議論を行い、科学
的根拠に基づく公正で適正な判断が早
期になされることで、新規制基準適合
性の審査が円滑かつ迅速に進むことを
期待するところであります。

又、資源小国である我が国において、
エネルギーの安全保障、地球環境問題等
の課題を解決しつつ、現在の日本経済や
生活の水準を維持していくためには、再
生可能エネルギーや省エネルギーの積極
的な推進はもちろん、将来にわたり、
一定の比率で原子力発電を維持してい

くことが必要不可欠であります。

現在、日本国内の原子力発電所は全
て停止しており、以来、三年十ヵ月経過
の中で、各立地地域では原子力関連の
雇用が大幅に減少し、地域経済は疲弊
を極め、日本の社会・経済に対する負の
影響も計り知れないものがございます。
又、我が村の商工関係者も事業の縮小
や廃業を余儀なくされており、大変厳
しい状況であり、立地地域への影響緩和
策等も要請しております。

その様なこともあり、地元商工関係
者より、早期の運転再開と、早期の工
事再開を強く要請を受けておりますの
で、村と議会は、昨年十月、国と両電力
の社長に対して、早期の再稼働、工事再
開について要望書を提出し、強く意志を
伝えて参りました。

こうした中、我が村の第一次産業の
農業は冷害も直接的な台風の被害もな
く、平年を上回る、作況指数は百六の
豊作となりました。又、そば、大豆の野
菜なども、好天に恵まれ、大豆と野菜
は平年並み、そばは豊作となりました。

畜産業は、福島での原子力発電所の
事故による影響や、鳥インフルエンザ、
口蹄疫などの伝染病の影響が心配され
る中で、子牛及び枝肉価格とも高値で
推移し、今後もしばらく高値が続く見
通しであります。

一方、漁業においては、漁船燃油や資
材の高騰など、依然として厳しい状況
下にあります。が、村の主力のイカ釣り
漁は、一時期、高海水温の影響で低迷
し、心配致しましたが、十一月から回
復し、魚価も比較的安定しているとのこ
とで、大変安堵しております。

サケ漁は、漁協単位ではバラつきがあ
るものの、漁獲量は平年並みであり、魚
価はやや高めに推移致しました。

サクラマス漁獲量は、比較的安定して
おり、ここ数年漁獲量が百トンを超え、

金額は一億円台で推移しており、放流
事業の効果が着実に実を結んでおりま
す。

この様に、地元経済、行財政運営も
厳しい状況であります。が、行政課題を
着実に解決しながら、将来を見据えた
村づくりに努め、基幹産業である第一
次産業の振興・発展のため、漁港・漁場・
道路等の充実を図るとともに、教育、
福祉、医療を重点的に推進しております。
教育に関しては、制度の改正により、
国においても実施されますが、いよいよ
一貫教育が実践されるようとしておりま
す。福祉については、包括的ケアシステム
を進め、村民の健康増進に努めなけれ
ばなりません。道路整備については、岩
屋バイパスが供用開始され、白糠バイパ
スの老部工区の進捗も図って参ります。
大震災の教訓を踏まえた避難施設の建
設、緊急避難階段工事の実施の他、避
難道路の設計の着手と併せ、津波に対
する防災体制の整備促進を図っており
ます。

これらを更に進めるためにも、新政
府の地方創生事業の活用も視野に入れ、
人口定住を目指した総合的かつ戦略的
な地域づくりに努めて参りたいと存じ
ています。

東通原子力発電所の運転再開と工事
再開の時期が明確となつておらず、非常
に厳しい経済環境、行財政状況は続き
ますが、私としては、今、この難局を乗
り越え、将来の東通村の基盤をしっかりと
したものに整え、将来にわたつて村民
が東通村に誇りを持って頂くよう、皆
様と共に行政を進めていかなければなら
ないと思っておりますので、引き続き
ご支援ご協力を賜りますようお願い申
上げます。

村民の皆様の今年一年のご多幸を心
よりご祈念申し上げまして、新年に当
たつてのご挨拶といたします。